

試験課題	FCD-1	FCD-2	FCD-3	FCD-X	備考
	5科目 50点	7科目 70点	10科目 100点	15科目 150点	
1 紐付脚側 (FCD-1のみ往復常歩、その他は復路速歩)	●	●	●	●	
2 紐付き脚側立止	●				
3 紐付き脚側伏臥	●				
4 紐付き停座および招呼(リード→5mバック)	●				
5 紐付き据座(リードは手から外す。5m)	●				
6 紐無し脚側(往路常歩、復路速歩)		●	●	●	
7 紐無し脚側伏臥		●	●	●	
8 紐無し脚側立止		●	●	●	
9 紐無し停座および招呼		●	●	●	
10 紐無し停座および後ろ向き招呼				●	
11 紐無し常歩行進中の伏臥		●	●	●	
12 紐無し常歩行進中の停座		●	●	●	
13 紐無し速歩行進中の停座				●	
14 紐無し速歩行進中の立止				●	
15 遠隔停座から伏臥(7m)			●	●	
16 遠隔停座から立止(7m)				●	
17 エイトorラン			●	●	
18 股くぐり(5m)				●	
19 障害飛越(片道)			●	●	

- ① 競技失格について : 競技場での過度の逃避、糞尿、虐待は、JKCルールに従い 競技失格とします。 ただし、指導手の希望で 次の演技は継続できるものとします。
- ② 受験資格について : 2010年度記録会 FCD上位者(1位、2位、3位)ならびにFCD1認定者は、必ず上位クラスを受験するものとする。
尚、上記を除くFCD2認定者は、上位クラスならびに同一クラスを受験できるものとする。
- ③ 競技順序について : 上記表の順に従い実施します。
- ④ 後ろ向き招呼 : 犬と共に10m前進し、進行方向に向かって犬を停座させる。指導者は廻れ右しスタート位置にもどり、合図で招呼する。
- ⑤ 常歩行進 ** : 常歩(速歩)行進競技は、5m犬と共に進行し所定の課題を指示し、指導手は更に10m進み犬と対面する。
教官の指示により犬の元に戻り、指示により脚側停座させる。更に指示によりスタート地点に戻り脚側停座で終了する。
- ⑥ エイトorラン : いずれかを事前に選択し、審査員に届ける。いずれも3回実施した後、脚側停座させる。
- ⑦ ジャンプ障害 : 指導手は犬と脚側停座し、教官の指示によりハードルをジャンプさせる。ジャンプ後、犬に立止で待てをさせ、教官の指示により犬の元に指導手は移動し、指示により脚側停座させる。尚 ジャンプ指示時 指導手は一步まで移動できる。
- ⑧ 費用 : 1クラス 500円。
- ⑨ その他 : 当日ヒートもしくはヒートから半月程度経過のワンちゃんは、申し出下さい。試験順を工夫いたします。
: 疑義が生じた場合は、松居会長と中村先生の協議によって決定します。

課目名	種目名				備考
	CD1	CD2	CD3	CDX	
紐付き脚側行進	必須1	必須1	必須1	必須1	行き常歩、帰り速歩(注1)
紐無し脚側行進		必須2	必須2	必須2	
停座及び招呼		必須3	必須3	必須3	
伏臥		必須4	必須4	必須4	
立止	必須2	必須5	必須5	必須5	初等科は紐付きも可
常歩行進中の伏臥		必須6	必須6	必須6	
速歩行進中の伏臥				必須7	
常歩行進中の停座		必須7	必須7	必須8	
速歩行進中の停座				必須9	
常歩行進中の立止			必須8	必須10	
速歩行進中の立止				必須11	
物品持来			必須9	必須12	
前進				必須13	
遠隔・伏臥からの立止				必須14	
遠隔・停座からの伏臥			必須10	必須15	
遠隔・停座からの立止				必須16	
障害飛越(片道)			必須11	必須17	
障害飛越(往復)			必須12	必須18	
据座			必須13	必須19	据座時間は30秒間
休止			必須14	必須20	休止時間は3分間
選択課目	3課目	3課目	6課目	10課目	
合計	5課目	10課目	20課目	30課目	